



Weekly Report



クラブ会長テーマ

理想は広く大きく…行動は地道にしっかりと

2005-6-1 第700回例会 NO.15-43 2005-6-8 発行

◎司会

SAA委員会 篠崎 一雄

最終例会のご案内／少年少女合唱団団員募集チラシ／
ロータリーの友6月号／ガバナー月信6月号

◎点鐘

会長 菊池 敏

◎国歌斉唱

ロータリーソング『奉仕の理想』

ソングリーダー 吉沢 洋景

◎お客様紹介

会長 菊池 敏

・多摩消防署

署長 野原 英司 様

・東京東江戸川RC

森本 弘 様

◎次年度会務報告

次年度会長 北村 幸彦

- ・本日例会終了後、第7回被選理事会を事務局にて行ないます。
- ・先般会員満足度アンケートをお願いしたのですが、回収が5名しかありません。アンケート提出よろしくおねがいします。

◎会務報告

会長 菊池 敏

- ①先日ご報告した会員候補者の入会資格に関する再調査申立が今理事会に届きましたので、定例理事会にて再審議を行い結果報告は例会時に発表いたします。
- ②先週皆様に配布した「身障者の為のテニス教室」記録報告書を参加者、関係者各位に郵送致しました。
- ③ガバナー月信表紙写真募集の案内が地区ガバナー事務所よりありました、〆切は7月11日ですので興味のある方は是非ご応募してください。応募用紙を回覧しましたのでご覧ください。

◎幹事報告

幹事 田島真由美

- ・来週例会の後、15周年事業についてクラブ協議会を開催いたします、忌憚のないご意見をお願いします。
- ・多摩ニュータウンタイムズ6月号1面に当クラブ特別事業、万葉の歌碑建立除幕式が載っております、ご覧ください。
- ・ロータリーの友18頁に赤尾会員の「出席なくしてロータリーなし」の記事が載っております、ご覧ください。
- ・6月22日は菊池、田島年度最後の例会ですので多くの皆さんの出席をお願いします。

①回覧

最終例会の出欠確認／東京多摩RC週報／ふくし便り／
／米山35周年記念誌

②配布物

【委員会報告】

◎出席報告

出席委員会 藤本 吉文

- ・会員総数 43名
- ・出席義務者数 41名(出席免除者2名)
- ・出席者数 32名
- ・欠席者数 9名(事前MU0名)
- ・出席率 78.05%
- ・欠席者：藤原 正範、平野 行廣、伊藤 英也、
小泉 博、高木 淳光、高野 範城、
内田 谷、山川 哲弥、御舩 哲
- ・補填MU：なし

5/18 最終訂正出席率 85.37%

◎ニコニコBOX

親睦活動委員会 小林 正

- 菊池 敏 お客様、ようこそいらっしゃいました。
- 田島真由美 お客様ようこそお越しくださいました。野原様、卓話楽しみにしています。
- 萩生田茂夫 消防署長さんこんにちは。ご苦勞様です。卓話宜しくおねがいします。
- 赤尾 恭雄 多摩消防署野原署長ようこそ。卓話宜しくおねがいいたします。
- 関岡 俊二 多摩消防署長様、卓話宜しくおねがいします。
- 津守 弘範 多摩消防署長野原さんようこそ。卓話宜しくおねがいします。

東京多摩グリーンロータリークラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491
E-mail tamagrc@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階

【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30

【会長】菊池 敏 【幹事】田島真由美

【クラブ会報委員長】小田泰機 【副委員長】加藤喜三郎

【委員】田中 賢・小城章・足立潤三郎・杉野志保子・小泉 博・内田 谷

遠藤 二郎 野原署長様ようこそ。卓話宜しく願います。

足立潤三郎 野原署長、卓話宜しく願います。

藤本 吉文 野原多摩消防署長をお迎えして。

北村 幸彦 菊池年度もあとわずかですね。

小林 和夫 センジツ、タンジョウビブプレゼントライタダキマシタ。イクツニナツテモウレシイモノデス。

萩生田政由 先日の夜例会でバースディープレゼントを頂きました女房と一緒に食事をしたよ。うまかったよ！

小林 正 昨日萩生田会員のご家族がおみえになりました。あの可愛い年頃のお嬢様をいつまでも自分のそばに置いておきたいのでは・・・？

本日の合計¥15,000 (累計¥952,083)

◎15周年実行委員長

宮本 誠

来週(6月8日)クラブ協議会を行ないます。初めてやる事なのでいろいろと問題を提起して練って戴きたいと思います。募集パンフレットが5部づつ入っています。関係委員会でも作戦は立てております。来週報告があると思います。一番の願いは子供達を集めることです。

◎次年度親睦実行委員長

足立潤三郎

次年度親睦委員会では例年行なっております親睦旅行(移動例会)を9月4—5日(月)に愛知万博に決定

◎卓話『尊い命を守るために』

多摩消防署 署長 野原 英司 様

本年4月に多摩消防署長を拝命しました、野原でございます。宜しく願います。貴重な時間をいただき「尊い命を守るために」をテーマにお話をさせていただきます。

これから紹介する手記は、2002年9月に学校で運動中に心室細動で亡くなった16歳の女子高校生の母親の手記であります。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・＜手記内容は省略＞
心室細動で亡くなった女子高校生の死後、AED(心臓に電気ショックを与える医療用機器)の存在を知った母親は、子供と同じことが起きないようにと、AEDの必要性と心肺蘇生法の重要性を積極的に訴えております。

また、3年前宮城県であった事例であります。公園で子供同士がキャッチボールをしている最中に投げ損なったボールが、周りにいた子供の胸を直撃し、救急車が来るまで応急手当は何もなされず、心室細動によって亡

くなりました。

平成14年の11月に高円宮様がスカッシュのプレー中に不整脈(心室細動)を起こし急逝され、またマラソン大会中に心筋梗塞によって命を落とした方もよく聞きます。

国において法令改正し、一般の市民でもAEDが使用できるようになりました。東京消防庁では、現在、都の公共施設や区市町村への設置促進を呼びかけるとともに、AED使用方法などを含んだ救命講習会の促進を図っております。是非ロータリークラブの皆さんに本講習の受講を強くお願いしたいと思います。



さて、私は、ある消防署で勤務していた時、ある機会を通じて街の人達によく聞いたことがあります。

目の前で突然人が倒れた時、又は発見した時、どうされますか。多くの人は「自分は何をしたらいいかわからない」「取り敢えず救急車を要請する」「きっと手を出さないだろうと思う」との回答でありました。私は皆さん方に訴えたいことは、もし、家族・知人・友人などの方が目の前で心肺停止状態に陥ったとしたら、どうされますか。救急車が来るまで見ているだけです。その結果、仮に最悪の状態になった時、あとで悔やんでも仕方ありません。だとしたら事前の備えとして是非消防署で行なっている救命講習を受講し、救命処置である心肺蘇生法をマスターし、救命の一番バッテリーになってはいかがでしょうか。

◎参考補足 吉沢 洋景(内科医)

心敗蘇生は肋骨が折れるぐらいにやらないと殆ど効果がありません。折れたところは後でいくらでも修復できます。

◎参考補足 小阪 一郎(医薬品販売)

自身の体験よりAEDの必要性和心肺蘇生法の重要性

◎点鐘

会長 菊池 敏

(今週の担当 足立潤三郎)